

やすらぎ

特養住民
佐々木アキノ筆

第12号

発行 平成13年6月25日
社会福祉法人やすらぎ会
編集 広報委員会



今年は何を植えようかな～

〈秋の収穫を夢見て畑のうねづくりに精を出すデイサービス利用者の方々〉

- ◆特別養護老人ホームぶなの園
- ◆沢内村デイサービスセンター
- ◆沢内村在宅介護支援センター
- ◆ホームヘルプサービス事業
- ◆西和賀介護相談室

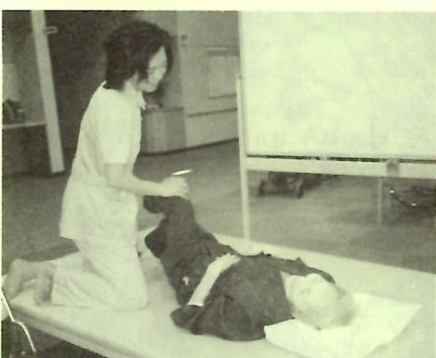
沢内村大字太田第2地割135番地 ☎0197-85-2322

◆沢内村高齢者生活福祉センターかたくりの園

沢内村大字大野第17地割140番地1 ☎0197-85-3388

生活に根ざした 機能回復訓練を

特養住民やご家族の皆さんからの強い要望もあり、ぶなの園では定期的に鶯宿温泉病院より専門の機能回復訓練士に來園いただき、住民の方の機能回復訓練をしていただいております。しかし、先方の事情により昨年一月からはおいでいただきことができなくなり、今年度からは特養看護婦の体制を三人にして、うち一人を機能回復訓練の専従として配置しました。



機能訓練は声かけをしながらゆくりと

この四月より機能訓練指導員という立場を任せられ、住民の方の機能回復訓練をさせていたただいております。指導員と呼ばれるにはまだまだ勉強不足の面もあり、五月七日から一二日の六日間、鶯宿温泉病院にて機能回復訓練の研修を行なって参りました。

果生じやすい心身機能の低下防止のための運動などが必要とのことです。もちろん、ご本人やご家族から希望があればそれに添うかたちで訓練を行いますが、担当の寮父母と話し合い、お一人おひとりの状態に合わせた計画を立て、その方の生活に根ざした機能回復訓練のお手伝いをさせていただきます。<機能訓練指導員 清水直子>



ひと家族ずつゆくりと時間をとって面談させていただきます

介護保険制度の施行から一年が過ぎました。特別養護老人ホームぶなの園では、施設入所は満床、ショートステイも今年に入ってからご利用者がかなり多くなつてきております。

施設での生活の一番の利点は、二四時間の介護体制にあると思います。しかし、それと引きかえに、自分なりの生活スタイルが多少なりとも犠牲になっていくことも事実なのではないでしょうか。お一人おひとりの性格や生い立ちが違うように、価値観も違います。ぶなの園では、住民の個性を大切にしたい援助をさせていただきます。五月に入っ

てから住民のご家族と、生活相談員、介護支援専門員等との面談を行なってまいります。施設での生活に対するご家族からのご意見やご要望、また、普段ご面会にいられて感じておられることなど、ざっくばらんに話していただいております。ご家族の関心が最も高いのが

自分たちの声で より快適な生活の場

毎月第一金曜日の午後三時から、特別養護老人ホームぶなの園では「住民懇談会」を開催しています。この会は、ぶなの園の行事や日常の生活全般に関して、住民の皆さんから意見を伺ったり、質問を受けたりする大切な時間です。

五月四日に開催された住民懇談会では、花見会の計画について、住民と職員が一緒になって検討が行なわれました。

いつもは口数の少ない住民の方からも「あそこの桜だば、毎年きれいに咲いてらっけ」など積極的な意見が出され、日時、場所、弁当の内容などが決定されました。

残念ながら花見の当日は天候に恵まれません、施設内での実施となりました。しかし、住民の皆さんが計画の



住民の方からは毎回積極的なご意見が出されます

段階から参加し、意見が反映されたことに満足の様子で「施設の中の花見もわるぐねえもんだな」と、唄や踊り、花見弁当を楽しんでおりました。この住民懇談会の今後の開催について、まだまだ改善すべき点もあります。

一つは実施時間がどうしても足りなくなってしまうこと。時間の都合で住民全員に意見等を

機能回復訓練です。現在の心身機能の状態を維持させていくためにも、ぜひ行なってほしいという要望が多いです。専門的な機能訓練だけでなく、毎日の生活動作の中の工夫や配慮、楽しみながらの遊びリレーション等、できる限りご本人やご家族のご要望に応えられるよう取り組んでいきたいと思っております。次に関心が高かったのが、毎

何うことができず、発言される方がやや固定化されてきている傾向があります。また、住民の入浴時間と重なってしまうという状況もあります。

ある住民の方からは「懇談会で発言しても、職員が忙しくしてなかなか改善されないことがある」との厳しい指摘もありました。

ぶなの園での生活がより快適になるよう、住民の皆さんの声に常に耳を傾け、この住民懇談会がもっともっと中身の濃い、有意義なものになるよう、職員一同努力して参ります。

<栄養士 丹波直人>

その人らしく過ごしていただくために 特養住民家族面談実施

日の楽しみの一つである食事についてです。それぞれの好みに合わせたメニューを毎回提供させていただきますことは難しいですが、月に何回かのバイキング等は、住民のご意見を伺いながら検討しております。

社会面では、もっと地域に出て、交流を深めてほしいという要望もありました。それとともに、地域の方が気軽に立ち寄って、住民の方と交流していただけるような雰囲気づくりを心がけていきたいと思っております。

<介護支援専門員兼寮母 平川縫子>

新しい住民 ご紹介

平成一三年三月〜五月

〔5月入居〕



町馬三郎さん (85歳)
新有馬

(年齢は五月末日現在)
よろしくお願いたします。

地域との重要なかけ橋

平成一三年度相談協力員の皆さん

平成一二年度の在宅介護支援センターへの相談件数は一六一件。介護保険制度導入による介護支援専門員という新たな職種的位置付けで、平成一一年度を三十数件下回りました。

相談件数は少なくなったものの、制度導入により在宅介護支援センターの果たすべき役割はさらに多様化してきており、昨年度、そして今年度と、介護保険対象外の方を中心とした訪問活動に、特に力を入れているところです。

支援センターが地域の高齢者の状況を把握させていただく上で、地域とのパイプ役としてご協力いただいているのが相談協力員の皆さんです。

今年度も四月二十七日に第一回目の相談協力員会議を開催し、今年度から新たにご協力いただくことになった六名を含め、各地区から一四名の方々に理事長

から委嘱状が交付されました。

六月には昨年度に引き続き、民生委員、相談協力員、支援センターの懇談会を、村内を四つのグループに分けて開催することになっています。

高齢者の介護等について、直接支援センターに相談しづらいという方は、お近くの相談協力員にお気軽にご相談ください。もちろん、個人の秘密はお守りします。

平成一三年度相談協力員の皆さんは、次の方々です。



新町 和子さん
☎85-2177



前郷 健一さん
☎85-2273



鍵飯 和子さん
☎85-2282



太田 みやさん
☎85-3164



猿橋 アキさん
☎85-2577



弁天 富美子さん
☎85-3175



泉沢 清さん
☎85-3031



長瀬野 智子さん
☎85-3372



川舟 ケイ子さん
☎85-2812



高下 安夫さん
☎85-5053



若畑 信子さん
☎85-5472



貝沢 洋一さん
☎85-5172

仲間に出会えるのが 楽しみ

生きがいデイサービス利用者
佐々木 吉 男さん

介護保険の対象とならない一人暮らし、高齢者世帯等の高齢者を対象とする生きがいデイサービスの事業も、二年目を迎えています。

そのご利用者の中から下の沢の佐々木吉男さんに、通所してのご感想を含め、普段の生活の中で感じていることを伺ってみました。

私は妻を亡くしてからは、家にいると日中は孤独だ。座骨神経痛があり、家にじっとしていた時に神経がおかしくなり、ボケたのではないかと思ったことがあった。

しかし、私は民謡や演歌が好きなので、歌を聴いたり、大きい声で歌ったりすることで、自分分は救われたと思う。自分の好



笑顔で仲間と会話する
佐々木吉男さん (写真右)

介護保険制度の一年を振り返る

介護支援専門員の立場から

西和賀介護相談室には、五月三十一日現在で四四件のケアプラン作成依頼があり、利用者が在宅や施設でその人らしく生活できるようにご本人やご家族の希望をお聞きしながら、ケアプラン

を作成させていただいております。

介護保険は、介護の必要な方を社会全体で支え合うということで導入された制度ですが、日中一人暮らしの方や高齢者世帯

のことである。年寄りには風邪が原因で病気になるので、うがいをするれば日本の医療費が省けると思う。

今はかたくりとぶなを交互に利用しているが、気分転換になつてよい。ただ、男性の方が少ないのもっと来てほしい。

また、自分は転んで歩けなくなるのが一番怖いので、北上の大和接骨院の指導を受け、家ではシコを踏んでいる。デイサービスでも、つまづかない、転ばないための歩く訓練や指導をしてほしい。

代筆・かたくりの園
生活相談員 高橋宏明

しかし悪いところばかりではなく、今まではサービスに対して抵抗を感じていた方も、公的な制度を利用するという意味から、少しずつ考え方が変わってきております。さらに、保険の適用で介護の幅が広がったことは、大きなメリットだと思えます。

西和賀介護相談室はこれから、地域の高齢者や介護者の皆さんに制度を上手に利用していただくための強い味方になれるよう、一緒に考え、お手伝いさせていただきます。

西和賀介護相談室
介護支援専門員 佐々木愛子

平成13年度 社会福祉法人やすらぎ会(ぶなの園・かたくりの園)重点課題

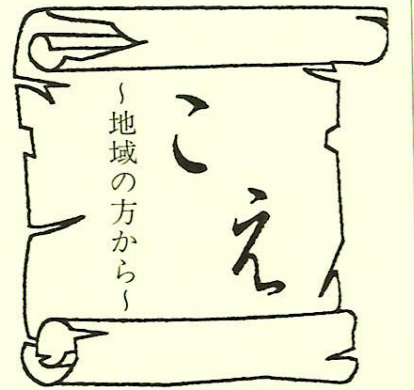
<やすらぎ会運営理念>

- 人権を守り、プライバシーを尊重し、高齢者が主人公であることを全ての事業実践において堅持します。
- 利用者に対し、全職種のチームワークによる全人格的な理解の上に立った介護、生活援助を行ないます。
- 家族、ボランティア、地域に開かれた施設として、必要な情報は公開し、地域住民と共に事業を推進していきます。
- 利用者にとっては利用しやすい、職員にとっては働きやすい場を追求します。
- 職員は常にお年寄りから、その他全ての方々から学ぶ姿勢を堅持すると共に、研修等自己啓発に努めます。

やすらぎ会は、ぶなの園、かたくりの園で行なう全ての高齢者福祉事業を沢内村より委託され、平成10年4月より開始し、3年が経ちました。この4月から4年目となり、介護保険制度下では2年目となります。

3年間の事業推進で、多くの職員は仕事を覚え、自信がついてきました。しかし、このことは「自分仕事ができる」という自惚にもなりかねません。そこで、13年度の事業を運営していく上での重点課題を原点に戻ることとし、具体的課題を職員の話し合いで決めました。

- (1)全ての職員は運営理念と各事業所の運営規程を理解し、これらに基づく原点に戻った各事業の展開を行ないます。
 - ・人生の大先輩に対する言動の見直しと徹底
 - ・住民、利用者への安全、安心を保證した環境づくり
 - ・利用者のADL（日常生活動作能力）に基づいた三大介護（食事、入浴、排泄）のきめ細やかな対応
 - ・在宅各事業においては、家族との協力体制をつくり、在宅での生活の向上に寄与する
- (2)事業推進の結果としての介護報酬の理解と原価意識を持ち、業務を推進します。
- (1)利用者やご家族等、その他からの苦情や意見を積極的に受け入れ、介護、生活の援助を行ないます。
 - ・ぶなの園、かたくりの園に苦情を書いていただく、訴えられるシステムを検討、確立
 - ・既設の苦情処理委員会の役割が果たせるよう再度検討
 - ・ホームヘルプ事業利用者への第3者委員の訪問により、利用者の満足度を調べる
- (2)業務に関し、職員自ら「サービス評価基準」に基づき点検し、問題点を明確にする。
- (3)(1)、(2)による改善すべき問題は改善し、改善できないものは検討した結果を速やかに伝える。
- 特別養護老人ホームの住民や在宅での利用者とも、お一人おひとりの心身の状況を的確に把握し、可能な限りその方のニーズ（要望）に合った援助をします。そのため「個別援助計画」を作成し、それに基づいた介護、援助を行ないます。
- 事業内容、運営、財務状況その他、可能な限りの情報を、利用者、ご家族はもとより、全村民に提供し、開かれた事業運営に努めます。
- 村の施設として、村民と共に事業運営をすすめる努力をします。
 - ・民生委員、相談協力員との懇談会
 - ・家族会組織化の援助と対等な立場での話し合い
 - ・ボランティアの法人としての組織化
 - ・地域交流スペース（ぶなの園）の村民ご利用のための工夫



今回は、沢内村大正琴同好会の代表としてさまざまな活動をされている、泉沢の高橋定雄さんにスポットをあて、大正琴に対する思いや同好会の活動について寄せていただきました。

『幼いころに聴いた音色が忘れられず...』

戦前、私がまだ小学生のころ大正琴が流行った時期がありました。そして戦後、日本中が落ち着いてきたあたりから再び各地で大正琴がブームとなり、その演奏がテレビで放映されることも多くなりました。少し寂しげなその音色が、小さかった私の心にじんわりと響いてきたことを、今でも憶えています。



泉 沢
高橋定雄さん

が、現在の沢内村大正琴同好会ということになりました。今から約一八年前の話です。現在の会員数は三八名、うち男性は私を含め二名だけです。若畑、川舟、丸志田、太田、新町に教室があり、今は盛岡から月一回くらいずつ先生が来て、教室ごとに練習したり、合同で練習したりしています。毎年、一月に

います。その音色が忘れられず、定年後に興味の一つとして独学で大正琴を始め、地区の演奏会で披露してもらったこともありました。そうしているうちにある婦人会から、みんなで大正琴をやってみたいと相談を受けました。教育委員会にお世話してもらって、北上から先生をお願いすることになり活動が始まったの

盛岡での弾初め会、六月に県民会館での発表会、そして一月は沢内村芸術祭での発表があります。その他に、教室ごとに敬老会で発表したり、保育所や福祉施設を訪問して披露させていただくこともあります。かたくりの園には開設当初から年に数回訪問させてもらっています。琴の演奏だけでなく、個人的にやっているハーモニカを吹いたり、趣味の会に入っている方たちが踊りを披露するなど、飽きずに楽しんでもらえるよう工夫しています。

バザーは11月に開催します

昨年度6月、初めて開催した「やすらぎ会バザー」。村内外から多数の方のご協力とご来場により、私たち職員の前予想をはるかに超える盛況ぶりでした。

そこで、今年度も第2回目となるバザーの開催を計画しております。

時期は6月ではなく、昨年度開催できなかった「文化祭」と併せ、11月11日（日）の開催を予定しております。

昨年度よりもさらに盛り上がるよう内容を検討して参りますので、今年度もぜひ、ご協力をお願いいたします。

<文化祭・バザー実行委員会>

やりがいを感じます。童謡や軍歌、歌謡曲などが人気で、それを聴く利用者の方の表情はとても懐かしそうです。ぶなの園にも近いうちにお邪魔し、ぜひ皆さんに聴いていただきたいと考えております。



懐かしい音色が響く
大正琴同好会の皆さんの演奏

財産目録

平成13年3月31日現在

資産・負債の内容		金額
I 資産の部		
1、流動資産		
現金預金		73,931,989
現金	釣り銭	20,000
信金預金	北上信用金庫 西和賀支店	2,109,767
普通預金	西和賀農業協同組合 沢内支所	71,745,422
定期預金	西和賀農業協同組合 沢内支所	56,800
未収金		110,398,689
未収金	3月分介護報酬請求額及び委託料	110,398,689
貯蔵品		41,360
流動資産合計		184,372,038
2、固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産特定預金	西和賀農業協同組合 沢内支所	3,000,000
基本財産合計		3,000,000
(2) その他の固定資産		
車両運搬具	車輛No.56-22	616,250
器具及び備品		3,759,674
積立預金		12,088,546
移行時特別積立預金	西和賀農業協同組合 沢内支所	12,088,546
その他の固定資産	岩手県退職共済掛金累計額資産計上	5,469,630
その他の固定資産合計		21,934,100
固定資産合計		24,934,100
資産合計		209,306,138
II 負債の部		
1、流動負債		
未払金		42,078,011
未払金	3月分光熱燃料費等	42,078,011
預り金	2月分社会保険料及び源泉所得税	22,709,183
流動負債合計		64,787,194
2、固定負債		
長期運営資金借入金	沢内村つなぎ資金借入	44,000,000
退職給与引当金	岩手県退職共済掛金累計額資産計上	5,469,630
固定負債合計		49,469,630
負債合計		114,256,824
差引純資産		95,049,314

貸借対照表

平成13年3月31日現在

社会福祉法人 やすらぎ会
一般会計

勘定科目	資産の部		負債の部		増減
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末	
流動資産	184,372,038	54,089,564	64,787,194	26,761,032	38,026,162
現金預金	73,931,989	43,890,764		3,900,000	△3,900,000
有価証券				18,829,507	23,248,504
未収金	110,398,689	6,298,800		587,116	22,122,067
貯蔵品	41,360				
立替金					
前払金					
短期貸付金					
仮払金		3,900,000		3,444,409	△3,444,409
その他の流動資産					
固定資産	24,934,100	23,242,785	49,469,630	3,816,980	45,652,650
固定資産(基本財産)	3,000,000	3,000,000			
建物					
土地					
基本財産特定預金	3,000,000	3,000,000			
固定資産(その他の固定資産)	21,934,100	20,242,785	114,256,824	30,578,012	83,678,812
建物					
構築物					
機械及び装置	616,250	877,250			
車両運搬具	3,759,674	3,460,009			
器具及び備品					
土地					
建設仮勘定					
権利					
投資有価証券					
長期貸付金					
公益事業会計元入金					
収益事業会計元入金					
措置施設繰越特定預金					
積立預金	12,088,546	12,088,546			
その他の固定資産	5,469,630	3,816,980			
資産の部合計	209,306,138	77,332,349	209,306,138	77,332,349	131,973,789
負債					
流動負債					
未払金					
未払金					
預り金					
固定負債					
長期運営資金借入金					
退職給与引当金					
負債合計	114,256,824	49,469,630	114,256,824	30,578,012	83,678,812
純資産					
基本金					
基本金					
国庫補助金等特別積立金					
国庫補助金等特別積立金					
その他の積立金	14,610,760	14,610,760			
移行時特別積立金	14,610,760	14,610,760			
その他の積立金					
次期繰越活動収支差額	57,438,554	9,143,577			
次期繰越活動収支差額	57,438,554	9,143,577			
(うち当期活動収支差額)	48,294,977	48,294,977			
純資産の部合計	95,049,314	46,754,337	95,049,314	46,754,337	48,294,977
負債及び純資産の部合計	209,306,138	77,332,349	209,306,138	77,332,349	131,973,789

脚注 減価償却の累計額 2,018,476円

※詳細をお知りになりたい方は、ご連絡ください。職員が詳しくご説明いたします。

ホーム喫茶のご案内

【閉店日】

10月21日(日)

11月18日(日)

12月16日(日)

【ご利用時間】

13:30～16:30

【場所】

ぶなの園

地域交流スペース

お待ちしております！

編集後記

最近、デイサービスの送迎バスの中ではこんな会話がよく聞かれるようになりました。

「まんつ、今朝だばさんびがっけなあ」

「よまかずにれば、かぜっこはっこぐなっくるおんなあ」

「これが、だんだんにさんびぐなって、そんま白いのちらちら降っくるんだ…」

ご利用者の方々は、季節を肌で感じられる方が多いようです。他にも、食べ物や行事、景色などさまざまなものから季節を感じとることができると思います。あなたは何で季節を感じますか？

〈やすらぎ会広報委員〉

高橋 渉 近藤富子 上中屋敷陽子

佐々木菜穂子 高橋宏明 高橋直美

感謝申し上げます

平成13年6月～平成13年8月

【ご寄付】

・蛭坂泰宏様

・高橋信一様

【ご寄贈】

・大石テツ子様

・木村義房様

・吉田信子様

・南川幸一様

・高橋 敏様

・高橋幸一様

・佐々木淑子様

・沢内村婦人連絡協議会様

・三浦武一郎様

・光寿苑様

・戸巻トシ子様

・吉田隆市様

・石川弘子様

【ボランティア等】

・沢内村民生委員の皆様(住民介助等)

・沢内村高齢者趣味の会の皆様(〃)

・平沢安保様(〃)

・高橋ミツ子様(〃)

・長瀬野婦人会の皆様(〃)

・泉沢婦人会の皆様(ホーム喫茶)

・太田婦人会の皆様(〃)

・上新町婦人会の皆様(〃)

・結いっこの会の皆様(〃)

・佐々木ツユ様(〃)

・沢内村理容組合の皆様(住民理髪)

・岩谷堂農林高校の皆様(鹿子踊り披露)

在宅での介護のお悩みは

在宅介護支援センター にご相談ください

《電話番号》

85-2319 (支援センター直通)

85-2322 (土・日・祝日、夜間対応)

お気軽にどうぞ!